



# 園部共同作業所だより

園部共同作業所発行

〒622 京都府船井郡園部町上木崎

No 33

32 0771(62)3249

## 精神障害者保健福祉手帳サービスク拡に大に關する署名のお願い

この度、京家連会長の職に就任することになりました。重大なときに大変重責を感じます。この時期、手帳制度拡充にむけ国会誓願署名が全国で二〇〇万人署名運動が展開されています。各府下の家族会や作業所、保健所の方々にお願いいたします。目標三三〇〇〇人達成するため運動を展開してまいります。他の障害者と同じように諸サービスクが受けられるようにならなければ本当の障害者福祉とはいえません。

来年は精神保健福祉法が改正され見直しの年を迎えます。全家連では厚生省へ意見を提出します。

一、保護者規程の撤廃  
二、市町村を精神福祉の実施主体としての位置づけ  
三、精神障害者の権利確立

この三つの柱が中心に全家連が提出。

一方、厚生省では精神障害者対策を身体ならびに知的障害者対策を統合化して一つの施策として

推進する動きがあります。精神障害者のレベルアップなしでは統合などあり得ません。

又、平成一二年には介護保険制度が導入され「障害者総合福祉法」への取り組みが見られますが、厳しい経済状況の中で福祉の切り捨ても否定できません。

また、来年は近畿ブロック家族大会が京都で開催されますので京家連も準備が大変です。皆様の絶大なご支援とご協力をお願いせねばなりません。他府県との交流、支援活動、運営等いろいろと大変な行事があります。家族会、行政、医療、福祉、地域、その他多くの方々の協力を得て活動して行かねばなりません。どうぞよろしくお願いします。

京家連会長 城島幹夫



## 身近な作業所

人にはそれぞれの生き方がありその生き方に誰も口出しする権利はないはずであるが相談を受けるといつの間にかあれこれと指示をしている。あたかも主役がこちらにあるかの様に振舞ってしまふのである。少し時間が経過して落ちついて来るとこれで良かったのかと考えをめぐらすのである。

相談室にいるいろいろな人との出会いがいろいろな相談を受けます。もちろん私は病院で仕事をしていますので入院中の人の相談もあります。この間も一人の患者さんから退院後の暮らし方について相談がありました。退院後は一人で生活しゆかねばなりません。いすから自分で働いて稼ぐ生活をしてゆくとゆう気持ちの人です。これまで実際にその様な生活をしてこられた方も否定するつもりはありません。そうなるか、願っています。しかし、相談されると私の仕事意識が出てくるのか「働くのはまだ早いので

「またしんどくなるんじゃないか」  
「しばらく家でゆっくりしたら」  
「こうした方がいいんじゃないか」等々……

より「安全に」が前に出て本人の思いにブレキをかけてしまいます。実際に退院してすぐ働いてと言うのには心配もありました。かと言って場所を思うように見つかりません。幸いに地元の作業所は身近にありついています。今回も主治医と相談の結果作業所を紹介しました。彼は以前にも少しは通所したことがありますが、作業所のことについては知っているのです。これまでには通所して感じたで仕方なく通っていた感じでは本人も少しは作業所を意識してくれたのではないかと思っています。「自分で言う思いは捨てたわけではないのです。彼もこれまで数回の入院歴がありましたが、最初の時、二回目は彼なりに病氣と付き合っただけ方法を探った様にも思えます。又作業所

についても徐々にではありませんが理解していただくと思えます。

退院したら一人の生活になります。地域社会にうまくとけ込んで新たな生活の仕方を学んでいってほしいと願っています。皆さんよろしくお願います。

紅葉丘病院相談員 木全健二

## 寄贈品

- 七月一三日 城島幹夫 お菓子・コーヒーセット
- 二一日 城島幹夫 お菓子色々・ジュース・生ビール・佃煮・缶詰等
- 二二日和知町社会福祉協議会 コーヒー詰め合わせ
- 八月 七日 明田履き物店 モード履き
- 二一日 徳永昭子 西瓜
- 二二日 山口雅典 ジュース
- 九月一〇日 小畑小末 お菓子
- 一四日 徳永昭子 お菓子・果物
- 西田カツエ 缶ジュース
- 西河和美 缶ジュース
- 九月二八日 明田履き物店 靴



# 退職記念品をお願いして

今年三月、私は京都府立鴨沂高校を最後に三〇余年にわたる高校生との生活を終えた。定年退職である。鴨沂は大好きだった。難しい問題が出れば出るほど生徒、保護者や教職員との密接な連携が出来、どんな生徒に対しても人間としての尊敬と信頼を失わず最後まで来れたことを本当に感謝している。三月末も近いある日、同僚が慰労会をしてくれるという。日時と場所だけ知らされて人数もすべて秘密。発案者に戒厳令でもしかれたのか誰に聞いても何も教えたくない。当日、勿体ないような盛會！最後のアーチで感極まる。一人一人に今までのお礼と今日の気持ちを小さな品に託して表したかった。まず御作業所のこと、頭に浮かんだ。以前から、御所のことは妹から聞いており、幾つかのステンドグラスも載っている。丁寧な仕上がりの製品だ。四月の初め、作業所に杉山所長さんを訪ね相談する。どれも素敵なのばかり。ペン皿にいやそれは細工が難しく時間がかかる。少しでも早い方がいい、数は八〇個。そんなに沢山、責任もって引き受けられるかな。

やはりこれだけの数は短期間では無理。仕方なく考え直すことに。漆器、陶器等をデパートや専門店で見つめた。おさなりのもの。なかなかな決まらな。……やはり遅くもなっても心の籠もったものを。結局、出来るだけ早く、でも期限はもうけないという条件でペン立てをお願いした。同僚への礼状に後日同僚共同作業所（紹介）から届く小品は、少人数による丁寧な手作業であるため生産が不可能であること、忘れた頃を楽しみに等書き添えた。所長さんの助言である。出来次第送付の一方、搬入して下さること三度。涼しげだ、綺麗だとの電話や葉書が来だした。最後の搬入、七月には「これだけの数に自信がついた。有り難う。」との言葉、なんと謙虚なと感じ入り、私もほっと救われた思いだった。

プレッシャーとおっしゃりながら、誠実に対応してくださった所長さん、無理を飲んでくださった皆さん、有り難うございました。柄に触れ私もほのぼのとした気持ちになりました。これを機に後援会に入れたらいいなと思いました。今後ともよろしく願っています。お元気で、ご健闘を。

山田 照子

# 行事・レクレーション

七月二十九日海水浴（由良海岸）- 九名参加  
 そのそこのお天気にも恵まれ、昼食もいろいろ食べ、楽しい一日を過ごした。

九月 二日体力測定  
 園部保健所において

二三日  
 瑠璃溪バザー

二七日京都  
 とっておきの芸術祭  
 京都市勧業館において  
 二名が絵画部に出品しました。

五名で鑑賞に行きました。

一〇月一四日日帰り旅行  
 二〇名参加（大阪）  
 なにわ工房（作業所）で  
 昼食をいただき、仲間達  
 と交流会をしました。カ  
 レーライスがとてもおい  
 しかったです。通天閣ま  
 で行き、展望台に昇り、  
 大阪市内を見ましたが、  
 もやであまり見えなかつ  
 たのが、残念でした。次  
 にスパワールドに行き、  
 ジェットコースターや乗  
 り物に乗り、楽しい一日  
 を過ごしました。

# 新しい水着、買ってしまっただこと

毎年、同じ由良海岸へ海水浴。こもるときになんと私は早く起きること二〇人出るほど、今年はずいぶん人数。マイクロナスに後ろの所にすわることに。今年は水着買ってもらったこと。

和知町みちの駅が出来ていたとは知らなかった。そこで休けい。缶コーヒを買ってバスの中でのむこと。ペットボトルのみものもっていたのにあんまりのまなかった。うとうとうしい天気で今も雨がふりそうで心配。

十一時には、由良海岸に着いたかな。着替えるのにイヤだと思っても新しい水着、ちょっと、大きくて。

例の事件でカレーが心配だと思っただけど、どうもありませんでした。薬のむのに、私だけが、さきに水があることに気がついて。海にはいる前に、救急法講習、準備体操をしてから海へ。

雨がちょっとふりだしたと思っただけ、だいふぶってきて、頭がぬれてしまった。あれいつのまにか、うきわがとれている

とは知らなかった。海には一〇分くらいはいていたかしら。おぼえてなくて。

あがってからは、スイカわり。たこやき、いかをたべているときに。スイカあまくておいしかった。ずぶぬれの猫がどこからかでてきた。かわい子猫。もう早くもバスに乗って。ぬれた髪、バスの中かでといて。午後五時の駅で休けい。トイレにいった、また缶コーヒー買ってはのみませんでした。朝、午後からも同じ店。

三品先生とは今年になってからは、はじめての海水浴でした。雨はよくふってくることに。それでも楽しかったです。来年はちがう海へ行きたいですね。

平成一〇年七月二十九日  
 HM

# 編集後記

近畿ブロック「家族会精神保健推進研修会、第二分科会（これからの精神障害者の作業所）」での自主製品についての発表も済み、修行のような七日間連続の講習会も無事終了しました。しかし、その為、ランニングは練習不足で体調は最悪。次回マラソンはとて無様な状態になりました。焦るな！

